



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月31日

上場会社名 株式会社エイジス 上場取引所 東
 コード番号 4659 URL <http://www.ajis.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 昭生
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 西岡 博之 (TEL) 043-350-0567
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	13,295	2.9	1,774	19.1	1,795	19.2	1,203	21.7
2018年3月期第2四半期	12,919	2.7	1,490	△0.6	1,506	0.2	989	△4.1

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 1,210百万円(18.8%) 2018年3月期第2四半期 1,018百万円(1.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	136.70	—
2018年3月期第2四半期	112.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	18,200	14,301	77.5
2018年3月期	17,876	13,600	75.1

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 14,106百万円 2018年3月期 13,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	4.2	3,600	10.5	3,651	10.3	2,500	11.7	283.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2019年3月期2Q	10,771,200株	2018年3月期	10,771,200株
2019年3月期2Q	1,965,747株	2018年3月期	1,965,668株
2019年3月期2Q	8,805,488株	2018年3月期2Q	8,805,646株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、全国各地で観測された豪雨や記録的な猛暑また大規模な地震など自然災害が景気に与える影響や、米国・中国の保護主義的な通商政策に基づく貿易摩擦による世界経済の下振れリスク増大などにより、先行きは依然として不透明な状態が続いております。当社グループの主要顧客であります流通小売業界におきましても、業態を超えた販売競争の激化及び人件費の高騰等により引続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、中期経営計画(2017年度～2019年度)の2年目として計画に基づいて事業を展開し、中長期での安定的な成長を見据え、さらなる事業基盤の強化に注力しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高13,295百万円(前年同四半期比2.9%増)、営業利益1,774百万円(前年同四半期比19.1%増)、経常利益1,795百万円(前年同四半期比19.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,203百万円(前年同四半期比21.7%増)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①国内棚卸サービス

国内棚卸サービスにおいては、既存顧客の出店増、実施日程枠の拡大による棚卸実施店舗数増および受注範囲拡大等により、増収となりました。また、利益面においては前期に引き続きカウント作業生産性が大きく伸長したため、大幅な増益となりました。売上高は8,437百万円(前年同四半期比0.2%増)、セグメント利益は1,452百万円(前年同四半期比35.3%増)となりました。

②リテイルサポートサービス

リテイルサポートサービスにおいては、新規出店時や店舗改装時の陳列業務、および店頭商品補充業務の受注拡大により、前期に引き続き売上増加基調で推移しております。利益面においては契約社員の正社員登用等の体制強化のための販売管理費増により減益となりました。売上高は3,672百万円(前年同四半期比8.4%増)、セグメント利益は245百万円(前年同四半期比21.2%減)となりました。

③海外棚卸サービス

海外棚卸サービスにおいては、体制強化のための販売管理費増およびAJIS(Vietnam)CO.,LIMITEDの新規連結等により増収・減益となりました。売上高は1,185百万円(前年同四半期比6.8%増)、セグメント利益は62百万円(前年同四半期比33.1%減)となりました。

当社グループの売上高の特徴として、国内棚卸サービスの閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客であります流通小売業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は18,200百万円(前連結会計年度比1.8%増)となりました。これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益獲得により現金及び預金が増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は3,898百万円(前連結会計年度比8.8%減)となりました。これは、主として未払金に含まれる未払給与が減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は14,301百万円(前連結会計年度比5.2%増)となりました。これは、主として配当金の支払いにより利益剰余金が減少したものの親会社株主に帰属する四半期純利益獲得により利益剰余金が増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、7,625百万円(前年同四半期比934百万円増)となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、1,259百万円(前年同四半期比11.8%減)であります。その主な内訳は、収入要因として税金等調整前四半期純利益が1,798百万円、売上債権の減少額が240百万円、支出要因として法人税等の支払額が551百万円であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は、526百万円(前年同四半期比19.2%減)であります。これは、主として投資有価証券、固定資産の取得による支出によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、479百万円(前年同四半期比33.5%増)であります。これは、主として配当金の支払額482百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績経過をふまえ、2018年5月14日に公表しました通期連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

2019年3月期の通期連結業績予想

一売上高

通期の連結売上高予想を従来の予想から500百万円引き下げ、28,000百万円に修正します。

国内棚卸サービスにおいては年間実地棚卸回数の減少等が予想されることに加え、リテールサポートサービスにおける受注体制構築の遅れにより売上高予想を下方修正することとしました。

- ・国内棚卸サービス : 通期売上高予想18,000百万円⇒17,800百万円(△200百万円)
- ・リテールサポートサービス : 通期売上高予想 8,200百万円⇒ 7,900百万円(△300百万円)

一利益面

通期の連結営業利益予想を従来の予想から100百万円引き上げ、3,600百万円に修正します。

国内棚卸サービスについては、前期より引き続き成果の出ている作業生産性の向上等により、原価を圧縮できる見込みであり利益予想を引き上げました。一方リテールサポートサービスについては、売上高予想の下方修正に伴い営業利益予想を下方修正しました。

- ・国内棚卸サービス : 通期営業利益予想2,550百万円⇒2,800百万円(+250百万円)
- ・リテールサポートサービス : 通期営業利益予想 700百万円⇒ 550百万円(△150百万円)

上記により連結通期利益予想を、営業利益3,600百万円、経常利益3,651百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,500百万円へそれぞれ上方修正しました。1株当たりの当期純利益は273.35円から283.92円となります。

<参考> 2019年3月期の個別業績予想

(修正後) 売上高: 17,800百万円、経常利益2,925百万円、当期純利2,031百万円、1株当たり当期純利益230.65円
(修正前) 売上高: 18,000百万円、経常利益2,657百万円、当期純利1,844百万円、1株当たり当期純利益209.41円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,690,632	8,860,654
受取手形及び売掛金	3,971,197	3,714,854
貯蔵品	46,039	45,819
その他	215,055	215,637
流動資産合計	12,922,925	12,836,965
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,276,394	1,276,394
その他(純額)	860,177	864,475
有形固定資産合計	2,136,572	2,140,870
無形固定資産		
のれん	162,396	169,524
その他	421,660	382,677
無形固定資産合計	584,056	552,202
投資その他の資産		
投資有価証券	1,584,735	2,094,210
その他	648,195	576,166
投資その他の資産合計	2,232,931	2,670,376
固定資産合計	4,953,560	5,363,449
資産合計	17,876,486	18,200,414
負債の部		
流動負債		
短期借入金	77,255	85,548
1年内返済予定の長期借入金	2,352	2,903
未払金	2,200,460	1,972,314
未払法人税等	598,991	616,281
賞与引当金	431,222	481,930
役員賞与引当金	20,641	3,096
その他	843,463	648,721
流動負債合計	4,174,388	3,810,796
固定負債		
長期借入金	17,351	15,627
退職給付に係る負債	11,240	13,757
その他	72,647	58,806
固定負債合計	101,240	88,191
負債合計	4,275,628	3,898,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	492,088	492,088
利益剰余金	14,826,518	15,525,260
自己株式	△2,463,941	△2,464,225
株主資本合計	13,329,665	14,028,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85,891	92,531
為替換算調整勘定	10,374	△13,974

その他の包括利益累計額合計	96,266	78,556
非支配株主持分	174,925	194,746
純資産合計	13,600,858	14,301,426
負債純資産合計	17,876,486	18,200,414

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	12,919,209	13,295,062
売上原価	9,370,933	9,244,335
売上総利益	3,548,275	4,050,726
販売費及び一般管理費	2,057,784	2,276,206
営業利益	1,490,490	1,774,520
営業外収益		
受取利息	4,808	9,738
受取配当金	4,898	5,434
受取賃貸料	11,187	11,261
物品売却益	111	—
その他	6,656	7,211
営業外収益合計	27,662	33,645
営業外費用		
支払利息	547	504
為替差損	4,601	5,799
賃貸費用	5,338	5,455
その他	851	765
営業外費用合計	11,338	12,523
経常利益	1,506,814	1,795,641
特別利益		
投資有価証券売却益	1,577	3,999
特別利益合計	1,577	3,999
特別損失		
固定資産除却損	4,868	1,395
特別損失合計	4,868	1,395
税金等調整前四半期純利益	1,503,523	1,798,246
法人税等	488,761	570,061
四半期純利益	1,014,761	1,228,185
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,349	24,445
親会社株主に帰属する四半期純利益	989,412	1,203,739

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	1,014,761	1,228,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,094	6,639
為替換算調整勘定	△9,136	△24,581
その他の包括利益合計	3,957	△17,941
四半期包括利益	1,018,719	1,210,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	993,289	1,186,029
非支配株主に係る四半期包括利益	25,429	24,213

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,503,523	1,798,246
減価償却費	177,434	182,721
のれん償却額	—	18,371
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,942	52,254
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,965	△17,236
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	844	3,150
受取利息及び受取配当金	△9,706	△15,172
支払利息	547	504
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,577	△3,999
固定資産除却損	4,868	1,395
売上債権の増減額(△は増加)	170,064	240,967
未払金の増減額(△は減少)	8,036	△230,698
未払消費税等の増減額(△は減少)	△52,719	△194,751
その他	63,634	△37,546
小計	1,868,928	1,798,206
利息及び配当金の受取額	8,363	12,706
利息の支払額	△87	△171
法人税等の支払額	△448,548	△551,350
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,428,655	1,259,390
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,106,559	△1,271,728
定期預金の払戻による収入	912,450	1,360,593
有形固定資産の取得による支出	△256,345	△122,414
無形固定資産の取得による支出	△106,570	△21,206
投資有価証券の取得による支出	△200,000	△500,000
投資有価証券の売却による収入	2,577	4,000
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
差入保証金の差入による支出	△8,996	△12,820
差入保証金の回収による収入	11,681	38,638
その他	10	△2,001
投資活動によるキャッシュ・フロー	△651,752	△526,939
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	8,789
長期借入金の返済による支出	—	△1,173
自己株式の取得による支出	△129	△284
配当金の支払額	△351,558	△482,847
非支配株主への配当金の支払額	△3,350	△4,392
その他	△4,560	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△359,598	△479,908
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,582	△15,626
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	412,722	236,916
現金及び現金同等物の期首残高	6,278,282	7,365,086
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	23,090
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,691,005	7,625,093

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテイルサポート サービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	8,421,505	3,388,620	1,109,083	12,919,209
セグメント間の内部売上 高又は振替高	41,735	69,949	—	111,685
計	8,463,241	3,458,570	1,109,083	13,030,894
セグメント利益	1,073,584	310,927	93,579	1,478,091

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,478,091
セグメント間取引消去	12,398
四半期連結損益計算書の営業利益	1,490,490

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテイルサポート サービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	8,437,450	3,672,604	1,185,007	13,295,062
セグメント間の内部売上 高又は振替高	43,787	53,882	—	97,669
計	8,481,237	3,726,486	1,185,007	13,392,731
セグメント利益	1,452,333	245,095	62,562	1,759,990

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,759,990
セグメント間取引消去	14,529
四半期連結損益計算書の営業利益	1,774,520

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

以上